

令和6年度 施設の自己評価



I (運営) 保育方針と目的

目的 心身ともに健やかに育成されるよう乳児の保育を行う

- 保育方針
- 一人ひとりの性格や成長の仕方に応じた保育をし、保護者と協力しながら心身ともに健やかな子どもの育ちを支える。
 - 人や自然と触れ合い、成長を促す為の生活リズムを整える環境を作る。
 - 思いやりのある、すなおなやさしい子。

II (取組み)

自己評価 (集計)

よくできている=A 概ね出来ている=B 努力が必要=C

		A	B	C
総合	保育計画に沿った実践に伴い、発達と生活の連続性の中で見通しを持った保育への取組み		100%	
	保育計画への評価と改善に向けた新しい活動、また職員同士の連携や思いやりある対応への取組み		100%	
健康 (心身の発達)	健康な心と身体の成長を促すよう、個々の成長に留意し挑戦する自発的な活動の尊重	33%	67%	
	発達や成長に配慮し、座る・はう・歩く・走る・飛ぶといった全身を使う遊びへの取組みと支援	17%	83%	
	食事や衣類の脱着など、自分でしようとする気持ちを尊重し、健康的な生活への取組み	33%	67%	
人間関係	理解を深め、愛情ある受容と応答			
	園児一人ひとりの気持ちを温かく受容と、丁寧な応答を通した絆をはぐくむ取組み	33%	67%	
	身近な大人として愛情豊かな応答を心掛け、信頼関係の構築	50%	50%	
	遊びや生活での配慮や、良好な関係の構築			
	発達に応じた社会的ルール・道徳を身につけていくように配慮している	17%	83%	
	喧嘩の場面では状況を適切にとらえ双方の思いを聞き温かく応答的に対応している	17%	83%	
環境 (身近な関わり)	園児が保育士の手伝いをしたり、友達を助けたり協力しあう意欲を尊重し、良好な関係構築への支援	33%	50%	17%
	近隣の生活や季節を活かした遊び、また身近な環境の中で、興味や好奇心をへの支援	17%	66%	17%
表現 (言語・感性他)	生活や遊びの中で、音・形・色・手触りなど身近な環境に、自分から関わろうとする意欲への支援	17%	66%	17%
	園児が意欲を高めるような遊びの準備やその配慮		83%	17%
	園児が意志や欲求を伝えようとする意欲に対し、語彙の増加を促すよう発達に応じ丁寧な表現	17%	50%	33%
養護	自分を表現する力が十分でない園児の気持ちをくみ取るよう努力している	33%	50%	17%
	自分の気持ちを安心して表すことができるよう、愛情ある支援(情緒の安定への取組み)	50%	50%	
	登園時の健康状態についての確認や、園での様子についての送り等、円滑な取組み	50%	33%	17%
	個々の発達・成長状況、またアレルギー等個性を把握し、心身の健康状況について継続的な支援	17%	66%	17%
	保育室は温かな親しみとくつろぎのある場とともに、生き生きと活動できる環境となるよう配慮		67%	33%
保護者と連携	衛生知識の向上に努め、清掃・消毒をはじめ、適切な衛生環境づくり		83%	17%
	園児一人ひとりの理解を深め、おたよりや園での様子について伝える際、丁寧な対応	33%	50%	17%
	保護者の思いを理解する様に努め、丁寧に連携の推進		67%	33%

改善に向けた取り組み

- 園内外の研修に意欲的に参加をし、保育者自身の資質向上を図るほか、日々の活動のふり返りを充実させ、不適切な保育の防止に務める。
- 日々の保育や発達についての連携不足を反省し、保護者とのコミュニケーション充実させ、連携強化を図る。
- 一人ひとりに合った言葉のかけ方への工夫や、成長、発達に応じた言葉掛けの充実など、保育者自身の資質向上に努める。

総括 (園から)

これまでに保護者様から評価頂いている園の雰囲気や大切にするとともに、研修を通じて職員の資質向上の推進に努めてまいります。
 今年度は大根やジャガイモ、トウモロコシの収穫から食べるまでの過程に関り、年間を通じて食育活動を行う事ができませんでした。
 また、おうちでの会話などにつながる様、季節イベントだけではなく普段の生活など、園での様子をお伝えできるよう写真等の掲示物の充実をはじめ喜びや感動、達成感を心身で感じて頂ける様、遊び・食育・行事等の保育計画の立案、実践していきたいと思ひます。